

# ひらか 連携ニュース



在宅医療・介護の推進により、在宅療養患者が増加しています。患者さんご家族が安定した病状で安心して療養生活を継続できるよう、看看連携の強化を図るため、当院の継続看護委員会と共催で、交流会を開催いたしました。  
今回は、交流会の概要と参加者のアンケート結果についてご報告いたします。

## 看看連携交流会を開催しました！

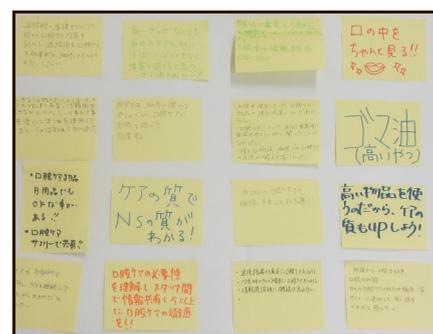
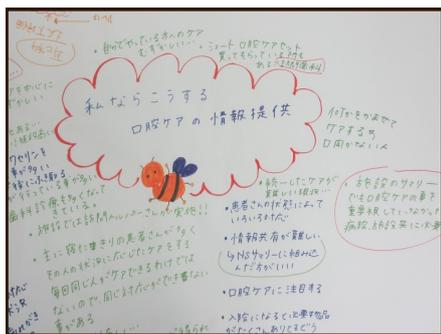
日時：平成29年8月25日（金）17：30～19：00  
場所：平鹿総合病院 講堂  
目的：看看連携を強化し、在宅療養患者のQOL向上を目指す  
対象：横手市内の訪問看護ステーション、介護施設に従事する看護師  
平鹿総合病院看護師  
参加人数：院外 17名 院内 29名 計 46名



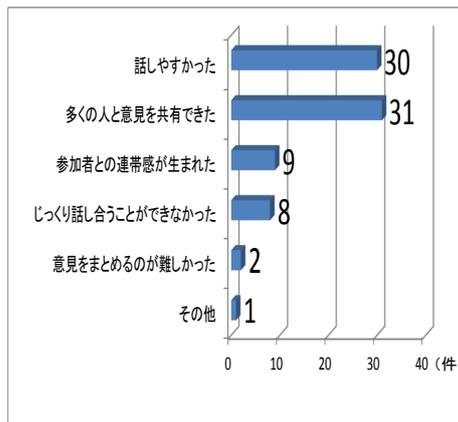
### 交流会の内容



- テーマ  
「口腔ケアを見直し、誤嚥性肺炎を予防しよう」
- ミニレクチャー  
「口腔ケアを見直そう」  
平鹿総合病院 脳卒中リハビリテーション看護  
認定看護師 柴田 亮子さん
  - ワールドカフェ  
「私ならこうする！口腔ケアの情報提供！」



在宅療養患者のQOLの向上を目的に開催した看看連携交流会。初回は、誤嚥性肺炎を予防できるよう口腔ケアに着目し、認定看護師によるミニレクチャーと口腔ケアに関する情報共有について、ワールドカフェ方式で意見交換を行いました。ワールドカフェは、「カフェで行うような自由な会話を通してこそ、いきいきとした意見交換や新しい発想が生まれる」という考えに基づいた話し合いの手法です。当日は、様々な意見が出され、病院と施設では、患者が抱える問題が異なることや、各々の看護師の役割を理解しあいました。そのような状況の中で、患者に適した口腔ケアを継続するには看護サマリーによる情報共有が大切ということを確認できました。今後も交流会を継続し、在宅療養における看護の質の向上、患者のQOLの向上に努めたいと思います。



ワールドカフェ方式について(複数回答)